

そのDRで開発効率があがっていますか??

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

WEB受講可 アーカイブ配信	<h1>品質保証のための デザインレビューの効率的・有効な進め方</h1>
7日間何度でも 視聴可能 (WEB受講の場合)	

- ◆日時: 2024年12月12日(木) 10:00~16:00 ◆受講料: (消費税等込) 1名:49,500円
  - ◆会場: TH企画セミナールームA ※会場/WEB 選択可 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円
  - ◆受講資料: 製本テキスト(受講料に含) ※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円(内税)
- ライブ配信/アーカイブ配信(7日間、何度でも視聴可)  
※当日の出席・欠席の有無は問いません

**デザインレビューの本来の意味・目的・ISO9001との関係性、顧客対応や設計開発を効率化するためのDR,自社DRの課題とその原因,効果的な実施のコツ、FMEA・DRBFM、FTAのデザインレビューでの効果的な使い方、実務者(管理職)としてのDR対応の仕方・事前準備・求められる役割について、実践的に分かりやすく解説する特別セミナー!!**

**【講師の言葉】**

デザインレビューによって、開発効率が上がっていると実感していますか。ISO9001を取得したために実施している、実施しないと認証が維持されない、結局は形だけになっている、という意見も聞きます。指摘されることばかりで宿題が増えるだけ、余計な仕事ができるだけ、ということもありませんか。

本講座では、デザインレビューの本来の意味や目的を再確認し、なぜ上手く進められないのか、活用できないのかを考えます。そして、自社の組織や事情に応じて、デザインレビューを無理なく効果的に行うコツやポイントを解説します。デザインレビューの教科書的な事細かな解説ではありません。要点を端的に述べ、そのために現場の実務者や管理職が取り組まなければならない点について、様々な事例を交えながら解説します。

- 【受講形式】** 会場・WEB
- 【受講対象】**
  - ・デザインレビューをやっているけども、やり方への疑問や、効果が上がらないと思う方
  - ・ISO9001を取得している、取得しようとしているがデザインレビューで困っている方
  - ・デザインレビューにおいて未然防止であるFMEA・DRBFMやFTAを活用したい方
  - ・製品企画、設計開発、試作・製造、生産技術、設備、品質保証に関係する技術者、管理者
- 【予備知識】** ・特に必要としません、わかりやすく解説します。
- 【習得知識】**
  - 1) デザインレビューの本来の意味と目的や、ISO9001との関係が再確認できる
  - 2) 顧客対応や設計開発を効率化するためにデザインレビューの考え方が学べる
  - 3) 自社におけるデザインレビューの課題とその原因が明確になるとともに、効果的な実施のコツがつかめる
  - 4) FMEA・DRBFM、FTAのデザインレビューでの効果的な使い方が理解できる
  - 5) 実務者(管理職)として、デザインレビューへの対応の仕方、事前準備のあり方、求められる役割などを認識できる など

●申込書・2024年12月12日(木)「品質保証のためのデザインレビューの効率的・有効な進め方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄

**◆ プログラム ◆**

**【講師】 CS-HK 代表 上條 仁 先生**  
元 日立製作所  
国立東京農工科大学 非常勤講師

<p><b>I. デザインレビュー本来の意味と目的</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. デザインレビューの目的・効果</li> <li>2. デザインレビューの誤解:意味が無い、やりたくない原因は</li> <li>3. 効果のあるデザインレビューとは</li> <li>4. ISO9001の要求内容</li> <li>5. デザインレビューの心構え</li> <li>6. デザインレビューと顧客満足:設計検証と妥当性の確認の違いと必要性</li> </ol> <p><b>II. 上手く進められない、形骸化してしまう、活用できない理由、原因、事情</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施時期について</li> <li>2. 議論と判定、デザインレビュー内容に対する出席メンバーの関係</li> </ol>	<p><b>III. デザインレビューの効果的な進め方、道具、コツ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前準備と報連相の必要性</li> <li>2. 課題や問題の視える化・共有化の必要性、その方法・道具</li> <li>3. 未然防止の考え方:FMEA・DRBFMとFTAの違い、使い分けによる有効化</li> </ol> <p>まとめ 質疑・応答</p>
--	---

- 【受講者の声】**
- ・現在抱えている課題のブレイクスルーとして、とても有意義なセミナーでした。単純に標準化の手法を教えて頂くのではなく、「なぜ必要なのか」や「〇〇はなぜダメなのか」、「そもそも標準化とは何なのか」など、周辺の考え方なども分かりやすくご説明頂けたところが良かったです。
  - ・上條先生の経験談や、ご本人曰く少し逸れたお話も、個人的にはとても面白く感じました。淡々と進む講義よりも、今回のような講義の方が楽しみをもって聴講できます。
  - ・内容は非常に分かりやすかったです。自社での展開にはもう少し事例の紹介をかみ砕いて(ゆっくり)もしくは事例のコピーが複数パターン欲しいです。
  - ・とても有意義に学ぶことができました。社内に持ち帰り少しでも実践に繋げたいと考えます。

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先  **TH企画セミナーセンター**  
株式会社 TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F  
TEL:03-6435-1138  
FAX:03-6435-3685  
E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 1212 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。  
<https://www.thplan.com/>